

ホームページ公開・研究対象者情報通知用

研究課題名：重粒子線治療における腫瘍制御と線量依存性の検討ならびに正常臓器の線量制約の確立

・はじめに

群馬大学重粒子線医学研究センターでは、重粒子線を用いたがん治療を行っています。重粒子線は線量集中性に優れ（ピンポイントに照射できる）、様々な疾患（例えば、頭蓋底腫瘍、頭頸部腫瘍、原発性肺癌、肝臓癌、膵臓癌、前立腺癌、直腸癌術後再発、子宮頸癌、骨軟部腫瘍、孤立性転移性腫瘍など）において、その有効性や安全性が報告されている治療です。

重粒子線治療は病気の部分にピンポイントに治療できることから、周囲の正常な臓器へはダメージを少なくすることができます。しかし、病変と正常な臓器とが非常に接している時には、周りの臓器に対して重粒子を当てないで治療することは難しくなります。

そういった場合では、各臓器において強い副作用を起こさずに安全に治療ができる放射線の線量、いわゆる「耐容線量」を基準にして、治療を行うことは非常に大切です。

重粒子線治療において、いくつかの臓器では耐容線量が分かっており、安全に治療ができる放射線の規定が定まっています。しかし、未だに多くの臓器では、重粒子線治療の耐容線量は分かっていません。

そこで、私たちは、重粒子線治療の耐容線量を確立するために、各臓器の副作用の発生状況と実際に当たった重粒子の線量との関係を、解析することとしました。また、副作用の発生状況については、重粒子線治療の成績とも密接に関係するため、治療成績も同時に解析する予定です。

・対象

2010年3月16日～2016年4月30日までに、重粒子線治療を施行した患者さんを対象とする予定です。対象者となることを希望されない方あるいは代諾者の方は、下記連絡先まで2017年6月30日までにご連絡下さい。

・研究内容

対象となった患者さんより以下の点において評価します。データの収集、解

析の際には匿名化し、個人が特定できないように配慮します。

- (1) 患者さんの情報
- (2) 放射線治療の情報
- (3) 副作用の情報

下記の点について解析を行います。

- (1) 重粒子線治療の放射線の量と副作用の関係性
- (2) 治療成績

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より 2019 年 3 月 31 日までです。

・予測される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により被験者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果は重粒子線治療を受ける患者さんにおいて、重篤な副作用を起こさないための安全な治療法の確立の一助となり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。また、本研究で患者さんが健康被害を被ることはなく、その補償も予定していません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、群馬大学重粒子線医学研究センターにおいては、個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取ります。第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、研究終了後も厳重に管理し、漏洩がないように配慮いたします

本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

研究期間中は全ての電子ファイルデータは群馬大学内のパソコンにてパスワードをかけて管理・保管します。研究終了後も厳重に管理いたします。

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属する

ことになり、あなたには帰属しません。

・研究組織と研究資金について

研究組織名称：群馬大学重粒子線医学研究センター

この研究は上記の研究組織で研究統括を行い、必要な費用についても同センター室経費でまかいません。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われぬのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・人を対象とする医学系研究倫理審査委員会について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。（ホームページアドレス：<http://www.med.gunma-u.ac.jp/clinicalresearch/rinsho/index.html>）

・研究責任者または分担者の氏名、職名および連絡先

この研究を担当する責任者および連絡先は以下のとおりです。

研究責任者

職名：群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 教授

氏名：中野 隆史

連絡先：027-220-8383

研究分担者

・群馬大学重粒子線医学センター 教授 大野 達也（027-220-8378）

・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 准教授 齋藤 淳一（027-220-8383）

- ・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 講師 白井克幸 (027-220-8383)
- ・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 講師 清原 浩樹 (027-220-8383)
- ・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 講師 岡本 雅彦 (027-220-8383)
- ・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 講師 河村 英将 (027-220-8383)
- ・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 講師 野田 真永 (027-220-8383)
- ・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 助教 久保 巨輝 (027-220-8383)
- ・群馬大学重粒子線医学研究センター 助教 村田 和俊 (027-220-8378)
- ・群馬大学重粒子線医学研究センター 助教 加藤 弘之 (027-220-8378)
- ・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 助教 渋谷 圭 (027-220-8383)
- ・群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 助教 吉本 由哉 (027-220-8383)

・ **研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合に連絡をとるべき相談窓口**

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

職名：群馬大学医学部附属病院 腫瘍放射線科 教授

氏名： 中野 隆史

連絡先：〒371-8511

群馬県前橋市昭和町 3-39-22

Tel：027-220-8383

担当：白井克幸

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

(1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。

(2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）

(3) 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知

(4) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明